

佐賀城本丸クラシックス1 しまよしたけにゆうほくき

# 島義勇入北記

藤井祐介編

島義勇

島義勇



## 収録内容

### I 紀行

- 丙辰江戸行日記 安政三年九月四日～十二月七日
- 奥州行日記 気 安政三年十二月七日～四年二月十三日
- 奥州并函館松前行日記 志 安政四年二月十四日～閏五月十日
- 入北記 行 安政四年七月二日～八月四日
- 入北記 雨 安政四年八月五日～八月二十八日
- 入北記 施 安政四年八月二十九日～九月二十七日
- 函奥日記並東洋記 安政四年九月～十二月八日
- 戊辰江戸行日記 慶応四年二月十六日～五月六日

### II 付篇

- 恭賀恩公閣下降任左近衛中将序
- 慶応四年四月建言書
- 北海道紀行詩
- 初代秋田県権令島義勇伺書
- 島義勇蝦夷地関連書翰

明治二年（一八六九）、新政府の開拓判官として札幌を中心とする北海道の都市建設に先鞭をつけた島義勇は、すでにそれを遡る安政四年（一八五七）三月七日に函館の地に立っていた。蝦夷地開拓を企てる佐賀藩主鍋島直正に命じられて海を渡った島義勇は、この探検で北海道や南樺太を踏破し「入北記」を著わした。そこには当時の蝦夷地の地形や産物、アイヌの生活などが詳しく記録されている。本書は、佐賀からの行程をふくむ紀行文八篇、関連書翰などを中心に、島義勇の著述を翻刻出版するものである。その記録を繙けば、島義勇のちに蝦夷地開拓の大任を担ったことに、宿命的なものを感じずにはいられない。

佐賀城本丸クラシックス1 シリーズ第1弾

## 島義勇入北記 藤井祐介編

2021年3月7日刊

本体価格 5,800円＋税

体裁(予定): 菊判225×152mm / 252頁 / 貼函  
ISBN978-4-905172-15-4

佐賀城本丸クラシックスは、幕末維新期に活躍した佐賀藩の人物に関わる一次的資料を活字化し、広く利用していただくことを目的とした翻刻叢書です。続刊として、江藤新平関係書翰、大木喬任談話筆記、副島種臣関係書翰などを企画しています。

佐賀県立佐賀城本丸歴史館

▼ご注文はお近くの書店または佐賀城本丸歴史館へ。佐賀城本丸歴史館からの購入で配送をご希望の場合は、別途、送料と振込手数料が必要です。

佐賀城本丸クラシックス1 島義勇入北記 ISBN978-4-905172-15-4 【 冊】を申し込みます。

ご住所 (〒 )

お名前 (フリガナ)

お電話番号

( ) -

取扱い店名	年	月	日

# 佐賀偉人伝

幕末明治期に活躍した佐賀の人物を紹介するシリーズ



## 鍋島直正 佐賀偉人伝 01

杉谷 昭

佐賀藩が近代化をすすめるにあたって強力なリーダーシップを発揮したのが第10代藩主鍋島直正です。鍋島直正が推進した「抜本的な改革」と「驚くべき挑戦」、さらに、刻々と変化する幕末の政治状況下における決断と動向にも迫ります。 ISBN978-4-905172-00-0



## 佐野常民 佐賀偉人伝 09

國 雄行

佐野常民は日本赤十字の父として有名です。また、万国博覧会や内国勸業博覧会などの事業についても尽力しました。本書は、博覧会事業を通してうかがえる佐野の構想や業績を探ることにより、日本の近代化の一側面を描き出します。 ISBN978-4-905172-08-6



## 大隈重信 佐賀偉人伝 02

島 善高

不屈の政治家として生涯を貫き、早稲田大学の創設者としても知られる大隈重信。わが国はじめての政党内閣を成立させた政治家としての足跡や、教育へむけた理念などを中心に、さまざまな分野での活躍についても紹介しています。 ISBN978-4-905172-01-7



## 納富介次郎 佐賀偉人伝 10

三好信浩

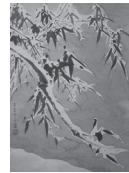
小城出身の納富介次郎は、日本の工芸教育のパイオニアです。海外視察の体験を生かし、日本の伝統工芸を輸出産業に発展させる方策を探求しました。日本各地に「工芸」教育の学校を興し、人づくりに貢献。異色の教育者の生涯を発掘します。 ISBN978-4-905172-09-3



## 岡田三郎助 佐賀偉人伝 03

松本誠一

第1回文化勲章受章者である岡田三郎助は、美人画に独特の優美さをそなえ、「色彩の画家」と評されました。東京美術学校(現東京藝術大学)で教鞭を執り、帝国美術院会員、帝室技芸員として美術界を牽引。絵画作品のカラー図版も多数収録。 ISBN978-4-905172-02-4



## 草場佩川 佐賀偉人伝 11

高橋博巳

多久邑に生まれた草場佩川は、二十代半ばにして朝鮮通信使の応接に関わり、その詩文や書画が絶賛されました。のちには弘道館の教授として、文人としても名をとどろかせました。江戸時代に日朝で交わされた友情の軌跡をたどります。 ISBN978-4-905172-10-9



## 平山醇左衛門 佐賀偉人伝 04

川副義敦

江戸末期に佐賀藩でいち早く導入された西洋砲術は、武雄領主鍋島茂義の指揮のもと推進されました。その最前線にあって当時最新鋭の技術導入に奮闘し、めざましく活躍した平山醇左衛門は、突然の斬首という不可解な死を遂げました。 ISBN978-4-905172-03-1



## 副島種臣 佐賀偉人伝 12

森田朋子・齋藤洋子

副島種臣は明治新国家の構築や黎明期外交に活躍し、一等侍講として天皇の深い寵愛を受けました。本書は、欧米列強からも喝采を浴びた外交上の功績や、政府に注視された政治活動を軸に、知識人たちに敬仰された巨大な姿を追います。 ISBN978-4-905172-11-6



## 島 義勇 佐賀偉人伝 05

榎本洋介

島義勇は、明治初期に開拓判官として北海道に入り、札幌を中心として都市を建設するために尽力しました。新政府における開拓使設置の目的、初代長官に鍋島直正、判官に島を選任した背景、さらに島の苦難と取組みについて検証します。 ISBN978-4-905172-04-8



## 伊東玄朴 佐賀偉人伝 13

青木歳幸

伊東玄朴は神埼仁比山の農家に生まれ、将軍の主治医にまで栄達した蘭方医です。佐賀藩の蘭学の発展に関わり、江戸に開設した象先堂では多くの後進を育てました。お玉ヶ池種痘所設置に尽力し、天然痘撲滅へ大きな足跡をのこしました。 ISBN978-4-905172-12-3



## 大木喬任 佐賀偉人伝 06

重松 優

大木喬任は、明治前期のわが国の制度づくりにたずさわり、とくに初代文部卿として近代的教育の確立に力を尽くしました。深く歴史に学び、経世家として評価された大木が、新しい時代へむけて抱いた構想と功績に切りこみます。 ISBN978-4-905172-05-5



## 枝吉神陽 佐賀偉人伝 14

大園隆二郎

副島種臣の実兄で、佐賀尊王派の中心人物が枝吉神陽です。島義勇、大木喬任、江藤新平、大隈重信をはじめ、明治政府で活躍した多くの人々に影響を与えました。早逝しましたが、この人に会えば魅了され、畏敬を深めたといわれています。 ISBN978-4-905172-13-0



## 江藤新平 佐賀偉人伝 07

星原大輔

江藤新平は、微禄の武士でありながら藩内で頭角を現わし、明治政府においては、司法や教育をはじめ多方面にわたり日本の制度づくりに活躍しました。本書は、江藤のさまざまな動きについて、綿密に追跡しながら明らかにしていきます。 ISBN978-4-905172-06-2



## 古賀穀堂 佐賀偉人伝 15

生馬寛信

幕府御儒者古賀精里の長男穀堂は、第10代藩主鍋島直正の教育係として大きな影響を与えました。弘道館の教授として学校拡充や学制刷新に力を注ぎ、人材を藩政に活かせる道筋を付け、のちの佐賀藩の躍進に貢献しました。 ISBN978-4-905172-14-7



## 辰野金吾 佐賀偉人伝 08

清水重敦・河上眞理

幕末唐津藩で生まれた辰野金吾は、東京駅や日本銀行を手がけるなど、明治期日本の西洋建築の第一人者です。本書は、辰野の足跡をたどり、ヨーロッパ留学時のスケッチブックを手がかりに、辰野の建築様式に新たな見解を提起します。 ISBN978-4-905172-07-9

シリーズ全15冊

A5判・112頁

各952円(本体価格)+税

▼ご注文はお近くの書店または佐賀城本丸歴史館へ。佐賀城本丸歴史館からの購入で配送をご希望の場合は、別途、送料と振込手数料が必要です。

佐賀偉人伝

- |                |               |              |
|----------------|---------------|--------------|
| 01 鍋島直正 ( 冊)   | 06 大木喬任 ( 冊)  | 11 草場佩川 ( 冊) |
| 02 大隈重信 ( 冊)   | 07 江藤新平 ( 冊)  | 12 副島種臣 ( 冊) |
| 03 岡田三郎助 ( 冊)  | 08 辰野金吾 ( 冊)  | 13 伊東玄朴 ( 冊) |
| 04 平山醇左衛門 ( 冊) | 09 佐野常民 ( 冊)  | 14 枝吉神陽 ( 冊) |
| 05 島 義勇 ( 冊)   | 10 納富介次郎 ( 冊) | 15 古賀穀堂 ( 冊) |

左記内容を申し込めます。

取扱い店名 年 月 日

ご住所 (〒 - )

お名前 (フリガナ)

お電話番号